

1. 施設の利用状況に関する事項

①施設の利用状況

令和2年度の総来園者数は166,339人（宿泊込み168,261人）で、対前年度比89.0%（宿泊込み87.6%）である。新型コロナウイルスによる影響（学校園の休校、閉館、各種体験・イベント・加工講座・農業塾・施設利用・宿泊業務の中止および参加・収容人数の制限等）を主因に前年割れ、1割強減少となった。

教育ファーム（学校関係）では、延べ118校、5,188人が来園した。前年度と比較して、利用学校は62校（4,045人）減少した。小学校の利用割合が最も多く、全体の約76%（前年83%）を占め、次いで幼・保育園8%、特別支援学校5%、中学校3%であるが、特支校の来園が徐々に増えている。学年別では小学校2年生が最も多く、次いで4年生、5年生の順となった。新型コロナの影響で4・5月は閉園となったが、月別では、9月、10月の利用が多かった。宿泊利用の学校は、延べ10校（前年28校）で全利用学校の9%であった。コロナ禍で開催が懸念された第2回アグリ・アート展は作品総数160点で予定通り実施することができた。

教育ファーム（一般）は8,512人の受入となり、うち個人利用が7,976人、団体利用は21団体536人（前年127団体3,919人）であった。個人・団体共に減ったが、特に団体利用は問い合わせは多いもののウイルス感染を警戒して実施に至らず、また予約も多数キャンセルとなった。個人利用者が行った体験内容は、多い順に「餌やり」「体験ツアー」「野菜収穫」であったが、人数と時間を特定して収穫・調理・畜舎を繋ぐ体験ツアー方式の満足度が高かった。また初の試みとして、緊急事態宣言による体験中止中に余剰が生じた苺を冷凍加工して販売した。

食品加工支援業務関係では、食品加工の基礎を学ぶための講座は、全51回に延べ309人が受講した。講座以外の加工室は延べ347回714人が利用した。いずれも新型コロナの影響による4～5月にかけての講座中止と閉館および再開後の人数制限により減少した。個別の加工室利用者は94%が農業関係者であった。令和2年度ではジャム・ソース等の商品化された製品が17品、ペースト等の一次加工品が8品となり、過去最多であった前年度比43%減少した。技術相談の回数は162回で、同じく20%減少した。

就農支援事業では、広く一般市民を対象とした「みらい農業塾」は20名の申込があったが、新型コロナの拡大により中止した。就農相談業務では、相談窓口を常設し、新規相談が12名（新規9名、後継ぎ3名）からあった。就農を検討している人を対象とした果樹および野菜栽培体験研修に、果樹コース2名、野菜コース5名が受講した。農福連携事業は、9施設延べ71名に、9回（延べ日数27日）にわたり障害者の就労に向けた訓練を実施した。新規就農の相談内容が、栽培技術習得のほか公的支援事業活用など多様化しており、新潟県（地域振興局・農業大学校）・新潟市（各区農政担当課）との連携がますます重要となっている。

宿泊施設には1,922人が宿泊したが、前年度比62%減少した。コテージと宿泊棟を合わせた年間稼働率は18.3%で前年度比16.4ポイント低下したが、特に4～6月にかけての宿泊停止をはじめコロナ禍により通年低調であった。農産物直売所の来客数は、売場拡張効果と内食志向により前年度比5%増加して売上額は177百万円余となり、前年度より約7百万円増加した。一方、農家レストランへの来客数・売上額は、外食自粛と席数削減から前年度比70%減少した。

毎年開催していた三大イベントの周年祭（5月）・収穫祭（10月）・ふるさと祭り（1月）および不特定多数を対象とする集客イベントは、3密回避の観点からほぼ全面中止した。なお1月に「新規就農者応援シンポジウム」を他業種から就農した3名をパネリストに、新大農学部伊藤准教授をコーディネーターに、JAグループからの担い手支援策の説明を交えて、就農希望21名参加により開催した。今年度来園した視察者数は114名（8団体）と、コロナ禍に加えて開業後6年を経過したこともあり、前年度の453名（41団体）から大きく減少した。

ホームページの更新は283回、アクセス件数は99,787件と、前年度比で更新回数は倍増し、アクセスは約2割減少した。これまでのSNS（Instagram・Facebook）に加えて、Twitter・YouTubeも開始したことで、より多くの層に適時情報を発信できるようになった。HPへのアクセス減少要因は、SNSの選択肢が増えたためと推測する。また新型コロナで来園できない学校のサポート教材としてASP授業動画を制作してYouTubeで公開したほかDVDを希望校に送付した。施設維持管理は法令に定められたものを含め適宜実施し、クレームや怪我、物損に対してもトラブルや事故を回避すべく対応した。

②来場者数

単位：人

項目	令和2年度	令和元年度	対前年度比
教育ファーム事業（学校）	5,188	9,774	53.1%
教育ファーム事業（一般）	8,512	12,763	66.7%
食品加工支援事業	1,382	1,782	77.6%
就農支援事業	540	1,122	48.1%
視察	114	453	25.2%
自主事業（その他体験・物販・施設利用等）	13,820	14,511	95.2%
直売所にいがた村	129,699	123,029	105.4%
農家レストラン	7,062	23,436	30.1%
その他	22	95	—
計	166,339	186,965	89.0%

③宿泊

1) 宿泊者数

単位：人

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
学校	277	757	-480	
一般	1,645	3,973	-2,328	
合計	1,922	4,730	-2,808	

2) 稼働率について

単位：%

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
コテージ7棟	16.9	33.8	-16.9	
宿泊棟	27.9	41.5	-13.6	
総稼働率	18.3	36.7	-18.4	

④教育ファーム

1) アグリ・スタディ・プログラム

	R2年度													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	119	5,188	10	331	8%	97	4,443	82%	4	223	3%	8	191	7%
	R1年度													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	189	9,774	14	455	7%	149	8,044	79%	10	515	5%	16	760	8%
	増減													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	-70	-4,586	-4	-124	1%	-52	-3,601	3%	-6	-292	-2%	-8	-569	-2%

2) 一般プログラム

単位：人

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
利用人数	8,512	12,763	-4,251	

⑤就農支援

1) 就農相談

単位：件

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
新規就農	7	1	6	
その他	6	11	-5	

2) 就農研修

項目	R2年度		R1年度		増減		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
就農研修(実地)	2	7	2	3	0	4	体験イベント、業務委託は除く
就農研修(座学)	0	0	0	0	0	0	

⑥食品加工支援

項目	R2年度		R1年度		増減		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
加工支援講座	51	309	63	505	-12	-196	
加工機器利用	347	714	368	841	-21	-127	

⑦イベント

1) 主催イベント

月	イベント名	参加人数	備考
6	親子で作ろう！和菓子作り教室	24	丸屋本店との「ほうずき」「そら豆」を模した和菓子作り体験
7	初めてのスパイスカレー作り	20	夏野菜収穫と調理体験
8	アグリ夏祭り	32	スイカ割体験
9	米祭り	40	JR新潟ファーム稲刈り体験
11	伝統食	28	初めてのたくあん漬け講座、キムチ作り体験教室
12 ～ 1	第2回アグリ・アート展	500 (他にJAビル300)	A S P等の体験を絵画で募集し審査・表彰・展示
1	新規就農者応援シンポジウム	21	パネリスト…他業種からの就農3者、コーディネータ…新大・伊藤准教授、担い手支援策…JAグループ

2) 外部団体等主催イベント

月	イベント名	場所	備考
			開催なし

2. 広報

1) 実施内容

媒体等	実施時期	料金	内容等
バス広告	平成30年度～	製作・出稿費	南区バス
白根大風合戦への協賛	中止	—	広告協賛
新聞	1月	出稿費	年賀協賛
他施設とのWEBリンク	随時受付	無料	
リリース	随時	無料	
パブリシティ	随時受付	無料	テレビ、ラジオ、新聞、情報誌、WEB

*その他施設パンフレット、市報、HP、自主作成チラシ（アグリ通信含む）、ポスター有

2) ホームページ

	R2年度		R1年度		増減		備考
	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	
合計	283	99,787	135	123,042	148	-23,255	

3. 施設の管理状況に関する事項

①会議等

単位：回

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
職員全体会	0	2	-2	都度、連絡書面等を回付した。
正副館長会議	12	11	1	原則毎月
イベント等会議	12	12	0	原則毎月
出店者連絡調整会議	0	1	-1	都度、連絡調整を行った。
その他	4	5	-1	

②職員研修等

単位：回

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
コンプライアンス研修	1	1	0	延べ参加人数27人（職員数27名）
職員研修等	4	4	0	延べ参加人数59人（職員数27名）

4. 収支状況

「新潟市アグリパーク 令和2年度 収支状況報告書（令和2年4月～令和3年3月）」を参照

5. 自主事業・利用促進

自主事業売上

単位：円

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
視察料	47,500	163,000	-115,500	
自動販売機手数料	357,365	394,342	-36,977	
その他収入	898,120	240,290	657,830	
合計	1,302,985	797,632	505,353	

6. その他

①利用者の満足度（アンケート）

単位：件

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
アンケート	22	134	-112	
満足度	95.5%	99.2%	-3.7%	

②クレーム

単位：件

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
クレーム	2	3	-1	

②市内産業への貢献

項目	市内割合			備考
	R2年度	R1年度	増減	
再委託業者	100.0%	100.0%	0.0%	7社中7社
職員	93.1%	93.1%	0.0%	29人中27人

⑤地域・関連団体等との連携

単位：回

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
連絡調整会議等	0	12	-12	コロナ禍で感染を避けるため

④ボランティア

単位：人

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
ボランティア（延べ）	889	703	186	

③社会貢献

単位：人

項目	R2年度	R1年度	増減	備考
障がい者雇用（延べ）	71	51	20	

以上